

若者が将来に 希望の持てる 年金制度を つくろう



年金は、老後の生活を支える重要な制度です。しかし、いま制度への信頼が揺らいでいます。非正規・不安定雇用が大幅に増え、賃金水準も低下したなか、保険料収入は落ちこみ、国保未納者は4割に達しています。

雇用の安定、賃金水準の引き上げとともに、若者が希望の持てる年金制度に改善することが必要です。

消費税によらない「最低保障年金制度」を

すべての人に安心の制度を保障するためには、庶民増税ではなく、国庫負担の増額で「最低保障年金制度」を早急につくる必要があります。

全国労働組合総連合(全労連)

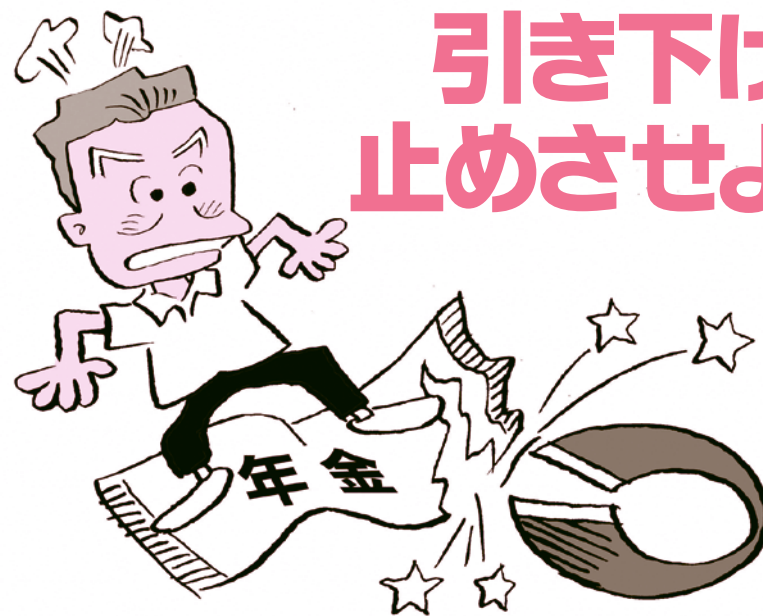
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F
TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
Email:webmaster@zenroren.gr.jp

全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777
E-mail:honbu@nenkinsha-u.org

誰もが安心して 暮らせる年金に

年金2.5%の 引き下げを 止めさせよう



先の国会では、私たちの強い反対で2.5%の年金引き下げ法案は成立しませんでした。今でさえ低い水準なのに、これ以上の引き下げは高齢者の生活を脅かします。消費は冷え込み、経済ももっと悪くなります。消費税の増税が重なればなおさらです。

また、「マクロ経済スライド」適用や年金支給開始年齢引き上げなど、さらなる年金改悪に道をひらくものです。

引き続き世論をつよめ、年金引き下げ断念まで追いこみましょう。

2012年10月からの削減は 阻止しました

当初の削減案

2012年10月	0.9%
2013年	0.8%
2014年	0.8%

「もらいすぎ」は言いがかり

政府やマスコミは「もらいすぎ」などと言っていますが、とんでもありません。「物価スライド特例分」は、当時の政府が高齢者の生活や経済への影響を考慮して、引き下げを凍結したものです。こうした状況はいつそう深刻化しており、多くの高齢者が低い年金水準に苦しんでいます。

いま必要なのはむしろ、年金制度の充実です。

毎年の年金を削減する 「マクロ経済スライド」 を廃止せよ

「物価スライド特例分」解消、つまり2.5%の年金引き下げに続けて、毎年の年金をさらに削減するたくらみが進められています。現役労働者の減少と高齢者の平均余命の伸びに合わせて年金を減らす「マクロ経済スライド」の発動です。

年平均0.9%といわれる毎年の年金削減は、高齢者の生きる権利をないがしろにするものです。これから年金受給者となる現役の人たちにとっても大問題です。経済への打撃も計り知れません。

暮らしてはきりぎり、
買つものは食べ物だけ
「電気・ガス・水道などすべて節約。これ以上年金が下がったら食費を減らさなければならぬ。病気になるのも医療費が出ない。不安でいっぱいです」(東京73歳女性)

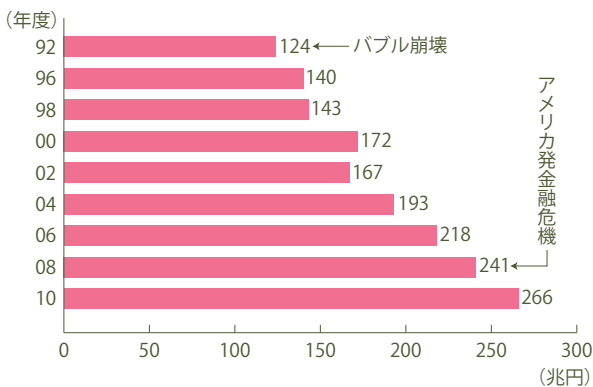
社会保障財源は 大企業・富裕層の応分の負担で

バブル崩壊後2倍以上

266兆円もの内部留保を ためこんでいる大企業

社会保障財源を口実に消費税増税の法律が作られました。しかし、それでは、冷え込んでいる経済を一層悪化させます。社会保障財源は、消費税増税ではなく、大儲けしている大企業や富裕層への応分の負担と軍事費や不要不急の大型公共事業予算の削減などで作るべきです。

社会保障などを充実させることは、経済の活性化にもつながり税収増や社会保険料の増収につながります。



衆議院議長殿
参議院議長殿

安心の年金制度を求める請願署名

仕事がない、あっても非正規など低収入の若者に老後を考える余裕さえありません。でもそれは避けられません。仕事や収入の確保と同時に全額国庫負担の「最低保障年金」など、安心の年金制度が必要です。

2.5%の年金削減は、高齢者だけの問題ではありません。経済に打撃をあたえ、いつもの年金改悪に道をひらく削減計画は止めるべきです。

請願項目

1. 消費税によらない最低保障年金制度をはじめ、若者が将来に希望を持てる年金制度に改善すること。
2. 生存権を脅かし、さらなる減額に道をひらく年金2.5%の引き下げを止めること。
3. 年金のいつもの引き下げをすすめる「マクロ経済スライド」を廃止すること。支給開始年齢の引き上げなど、年金制度の改悪を断念すること。

氏名	住所

全国労働組合総連合(全労連)

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F
TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
Email:webmaster@zenroren.gr.jp

全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777
E-mail:honbu@nenkinsha-u.org